



2024年3月29日

各位

会社名： 株式会社 スタメン  
(コード：4019 東証グロース)  
代表者名： 代表取締役社長執行役員 CEO 大西 泰平  
問合せ先： IR 担当  
(ir@stmn.co.jp)

(訂正・数値データ訂正) 「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2024年2月14日に公表いたしました「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」発表後、決算短信の記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容(訂正箇所には下線を付しております。)

(1) 添付資料3ページ 1. 経営成績等の概況 (2) 当期の財政状態の概況

【訂正前】

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて305,125千円増加し、1,838,267千円となりました。これは、主に現金及び預金が209,296千円、その他の流動資産が86,581千円、投資その他の資産が19,615千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べて121,019千円増加し、622,721千円となりました。これは、主に未払金が25,463千円、未払費用が38,574千円、その他の流動負債が48,419千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ184,105千円増加し、1,215,545千円となりました。これは、主に親会社株式に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が92,588千円増加したことによるものです。なお、資本金の額の減少及び剰余金の処分(2023年5月12日効力発生)により資本金が560,400千円減少した一方で、資本剰余金が429,059千円、利益剰余金が131,340千円増加しております。

【訂正後】

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて305,125千円増加し、1,838,267千円となりました。これは、主に現金及び預金が209,296千円、その他の流動資産が86,581千円、その他の投資その他の資産が19,615千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べて121,019千円増加し、622,721千円となりました。これは、主に未払金が25,463千円、未払費用が38,574千円、その他の流動負

債が 48,419 千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 184,105 千円増加し、1,215,545 千円となりました。これは、主に親会社株式に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が 125,301 千円増加したことによるものです。なお、資本金の額の減少及び剰余金の処分(2023 年 5 月 12 日効力発生)により資本金が 560,400 千円減少した一方で、資本剰余金が 429,059 千円、利益剰余金が 131,340 千円増加しております。

(2) 添付資料 3 ページ 1. 経営成績等の概況 (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ 105,018 千円増加し、1,043,677 千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は 202,124 千円(前年同期は 162,936 千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上額 162,687 千円、未払費用の増加額 38,574 千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 45,831 千円(前年同期は 136,212 千円の獲得)となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出 20,000 千円及び有形固定資産の取得による支出 10,396 千円、無形固定資産の取得による支出 10,785 千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は 53,004 千円(前年同期は 5,196 千円の使用)となりました。これは主に、ストック・オプションの行使による収入 43,000 千円及び 長期借入金による収入 20,000 千円、長期借入れによる支出 9,996 千円によるものであります。

【訂正後】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ 209,296 千円増加し、1,043,677 千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は 202,124 千円(前年同期は 162,936 千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上額 162,687 千円、未払費用の増加額 38,574 千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 45,831 千円(前年同期は 136,212 千円の獲得)となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出 20,000 千円及び有形固定資産の取得による支出 10,396 千円、無形固定資産の取得による支出 10,785 千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は 53,004 千円(前年同期は 5,196 千円の使用)となりました。これは主に、ストック・オプションの行使による収入 43,000 千円及び 長期借入れによる収入 20,000 千円、長期借入金の返済による支出 9,996 千円によるものであります。

## (3) 添付資料 10 ページ 3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	132,261	162,687
減価償却費	19,690	26,129
株式報酬費用	10,739	15,804
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,781	△797
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	—	364
資産除去債務履行差額	—	△1,712
受取利息	△20	△14
支払利息	260	240
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2,507
固定資産除却損	126	1,943
売上債権の増減額 (△は増加)	17,878	△12,600
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△717	△2,723
未払金の増減額 (△は減少)	24,480	25,463
未払費用の増減額 (△は減少)	3,310	38,574
契約負債の増減額 (△は減少)	5,965	25,358
その他	△40,058	△43,270
小計	176,699	237,953

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	132,261	162,687
減価償却費	19,690	26,129
株式報酬費用	10,739	15,804
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,781	△797
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	—	364
資産除去債務履行差額	—	△1,712
受取利息	△20	△14
支払利息	260	240
投資事業組合運用損	—	2,507
固定資産除却損	126	1,943
売上債権の増減額 (△は増加)	17,878	△12,600
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△717	△2,723
未払金の増減額 (△は減少)	24,480	25,463
未払費用の増減額 (△は減少)	3,310	38,574
契約負債の増減額 (△は減少)	5,965	25,358
その他	△40,058	△43,270
小計	176,699	237,953

以上